

DeLonghi

DEDICA

COFFEE GRINDER

デロンギ
デディカ
コーン式コーヒーグラインダー

型式番号

KG521J 家庭用

※本体の型式番号「KG521J」の後に続く
アルファベットは、色番号を表すものです。



取扱説明書（保証書付）

このたびは、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書（裏表紙）とともに大切に保管してください。


本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。


目次

安全上のご注意.....	2～3
各部のなまえとはたらき	4～5
初めてお使いになる前に	6～7
コンテナにコーヒー豆を挽く..	8～9
フィルターホルダーに コーヒー豆を挽く	10
その他の機能	11
お手入れ	12～13
故障かな？／仕様	14
アフターサービス.....	15
保証書	裏表紙


安全上のご注意<必ずお守りください>


- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。

 **警告** 誤った取り扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの


 **注意** 誤った取り扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

 必ずしなければいけないことを示します。
指示

 してはいけないことを示します。
禁止

警告

 **電源プラグは、交流 100V のコンセントに根元まで確実に差し込む**
指示 (火災・感電の原因)

- ゆるんだコンセントは使用しない。
- コンセントや配線器具の定格を超えた使いかたをしない。
- 海外など、異なる電源電圧の地域で使用しない。(日本国内専用)


電源プラグやコンセントのほこりなどは定期的から拭き掃除をする
(火災の原因)

異常・故障時には直ちに使用を中止する
(火災・感電の原因)

〈異常・故障例〉

- 電源プラグ・コード・本体が異常に熱くなる。
- 通電しない。
- 異常な音やにおいがする。
- 本体や挽き刃に破損や変形がある。

異常・故障時には直ちにスイッチを切り、回転が止まってから電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。

 **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
禁止 (感電の原因)

電源プラグ・コードを破損させない
(火災・感電の原因)

- 傷付けたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない。
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない。
- 火に近づけたり、高温部に近づけたりしない。

電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社へ点検・交換を依頼してください。

子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児に手の届くところで使わない
(火災・感電・けがの原因)

ホッパーの中へ手を入れない
(けがの原因)

ホッパーに異物を入れない
(けがの原因)

コーヒー豆を挽く以外の用途に使用しない
(火災・感電・けがの原因)

分解、修理、改造をしない
(火災・感電・けがの原因)

警告



本体や電源プラグ・コードに水をかけない

禁止

(火災・感電の原因)

- 水をかけたり、水に浸けたり、水洗いしたりしない。

誤って水をこぼしてしまった場合は直ちに使用を中止し、販売店または当社へ点検・修理を依頼してください。

注意



指示

ホッパーふたが確実に閉まっていることを確認してから、電源スイッチを「ON」にする

(けがの原因)

運転中にホッパーふたを開けたり、コンテナを取り出したりしない

(けがの原因)

お手入れをする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

(感電・けがの原因)

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

(火災・感電の原因)

- 電源コードを無理に引っ張らない。

使用後は必ず電源プラグを抜く

(火災の原因)



禁止

水や蒸気のかかる場所や湿気の多い場所、火気の近くで使用しない

(火災・感電の原因)

不安定な場所や敷物などの上で使わない

(けがの原因)

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル(PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル(PBDE)の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



RoHS

各部のなまえとはたらき

ご使用前に梱包材などを取り除いてください。

ご使用前に、「お手入れ」(12～13ページ)をお読みの上、各部を洗ってください。

ホッパーふた

豆を挽く際は、必ずふたをしてください。

ホッパー (豆入れ)

ローストしたコーヒー豆を投入します。

上部挽き刃

粒度調節レバー

(6ページ)

ホルダースタンド

フィルターホルダーに豆を挽くときに使用します。
(10ページ)

ボックス

コンテナふた

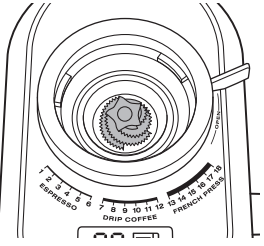
コンテナ

中挽きのコーヒー粉が、最大約120g入ります。

キャップ

下部挽き刃

お手入れの際は、ブラシなどをご利用ください。(12ページ)



本体

杯数ダイヤル

(7ページ)

ボックス収納部

トレイ

トレイを取り付けてからコンテナを取り付けてください。
(6ページ)

電源ボタン

電源コード

電源プラグ

クリーニングブラシ

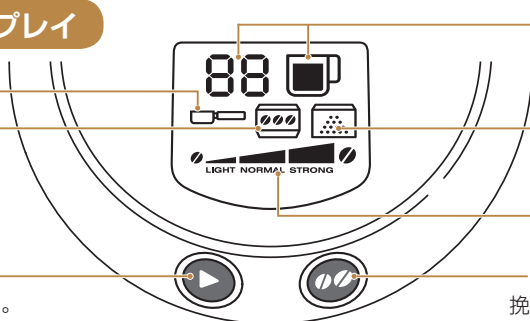
操作部／ディスプレイ

ホルダースタンド表示

ホッパー表示

スタートボタン

運転の開始／停止をします。



杯数表示

コンテナ表示

豆量表示

豆量調節ボタン

挽く量を加減します。

ディスプレイ表示について

	<p>コンテナまたは、ホルダースタンドが取り付けられていません。コンテナまたは、ホルダースタンドを正しく取り付けてください。 ※取り付けでも表示される場合は、一度取り外してから正しく取り付けてください。</p>
	<p>ホッパーが取り付けられていません。ホッパーを正しく取り付けてください。 ※取り付けでも表示される場合は、一度取り外してから正しく取り付けてください。</p>

※何も操作せず約 10 分経過するとディスプレイが消灯します。再度使用を開始するときは、、のどちらかのボタンを押してから操作してください。

ホッパーの取り付け／取り外し

本体にホッパーを載せ、ホッパーを時計回りに回し固定する

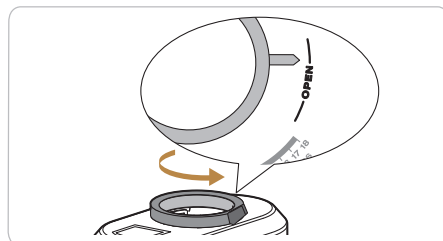
ホッパーを本体に載せ、時計回りに止まるところまで回して取り付けます。



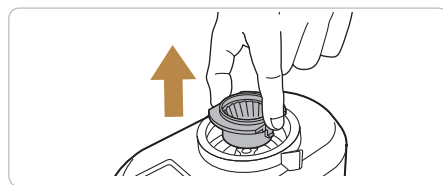
※ホッパーを取り外す際は、ホッパーを反時計回りに回して取り外します。

刃の取り付け／取り外し

① 粒度調節レバーを反時計回りに回して「OPEN」の位置にする



② 上部挽き刃を持ち上げて引き出す



※上部挽き刃を取り付ける際は、逆の手順で上部挽き刃を取り付けます。

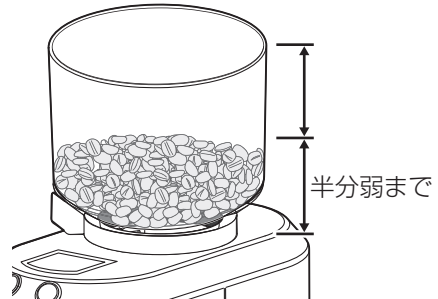
初めてお使いになる前に

本製品は工場です豆を使った試験を行って出荷されています。そのため、本体内部にコーヒー豆のカスが付着していることがありますが、ご了承ください。

一回に挽くコーヒー豆の最大投入量

ホッパーは最大で約 350g のコーヒー豆を入れることができますが、コンテナの最大容量は約 120g (中挽き時) になります。1 回に挽くコーヒー豆の最大投入量はホッパーの半分弱までを目安にしてください。

※コーヒー 1 杯分のコーヒー豆の量は、お好みで調整してください。



粒度目盛について

粒度の調節は、●を押した後に粒度調節レバーを回してお好みの粒度目盛に合わせます。左側の「ESPRESSO」に合わせると、細かい粉になり、右に行くほど粗くなります。右側の「FRENCH PRESS」に合わせると粗い粉となります。コーヒーの入れ方やお好みによって挽き具合を 18 段階調節できます。



トレイと安全装置について

コンテナにコーヒー豆を挽く場合は、トレイを取り付けてからコンテナを取り付けてください。
※トレイを取り付けずにコンテナを取り付けると、安全装置がはたらいで運転できません。

粒度と粉量について

仕上がりの粉量はコーヒー豆の種類やロースト、および選択した粒度によって変化します。粒度が細かいほど粉量は少なく、粗いほど多くなりますので、下記を目安にコーヒーの入れ方や抽出量にあわせて調整してください。

コンテナにコーヒー豆を挽くときは

杯数ダイヤルはコーヒーの抽出杯数(1～14杯)に合わせた粉量の目安として利用できます。お好みに応じて「粉量の目安」を参考に、杯数ダイヤルと豆量調節ボタン(LIGHT、NORMAL、STRONG)で調整してください。

粉量の目安 (g) : 豆量設定「NORMAL」、初期設定時

杯数ダイヤル	極細挽き～細挽き	中挽き	粗挽き
	ESPRESSO [1] - [6]	DRIP COFFEE [7] - [12]	FRENCH PRESS [13] - [18]
1	4 ~ 6	6 ~ 10	10 ~ 12
2	8 ~ 12	12 ~ 18	18 ~ 22
3	12 ~ 18	18 ~ 26	26 ~ 33
4	17 ~ 24	24 ~ 35	35 ~ 44
5	21 ~ 30	30 ~ 44	44 ~ 55
6	25 ~ 36	36 ~ 52	52 ~ 66
7	30 ~ 42	42 ~ 61	61 ~ 77
8	34 ~ 49	49 ~ 69	69 ~ 88
9	38 ~ 55	55 ~ 78	78 ~ 98
10	42 ~ 61	61 ~ 86	86 ~ 109
11	49 ~ 77	68 ~ 104	100 ~ 130
12			
13	54 ~ 88	78 ~ 114	107 ~ 153
14			



「FRENCH PRESS」用のコーヒー粉を挽くときは、最大で8杯分までにしてください。コンテナからあふれる場合があります。

フィルターホルダーにコーヒー豆を挽くときは

エスプレッソ 1杯分または2杯分のコーヒー豆を挽くことができます。

※「コンテナにコーヒー豆を挽く」ときの粉量と異なります。

※ 粒度目盛は ESPRESSO [1] - [6] の範囲で設定してください。

※ 下記の粉量は初期設定時の目安になります。粉量を変更することができます。(11 ページ)

粉量の目安 (g) : 豆量設定「NORMAL」、初期設定時

杯数	ESPRESSO					
	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]
1	6.5	7.0	7.5	8.0	8.5	9.0
2	11.0	11.5	12.0	12.5	13.5	14.0

コンテナにコーヒー豆を挽く

1 本体を平らなところに置き、ホッパーとコンテナを取り付ける

ホッパーを本体に載せ、時計回りに止まるところまで回して取り付け、次にコンテナを本体に取り付けます。

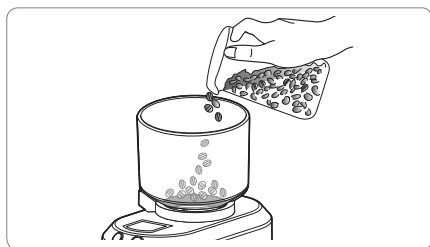


※コンテナは奥までしっかりと本体に押し込んでください。

※コンテナを取り付ける際は、トレイが装着されていることを必ずご確認ください。(6 ページ)

2 豆を入れる

ホッパーのふたを取り外して、コーヒー豆を入れ、ホッパーのふたをしっかりと取り付けます。



※一回に挽くコーヒー豆の最大投入量は、ホッパーの半分弱を目安にしてください。(6 ページ)

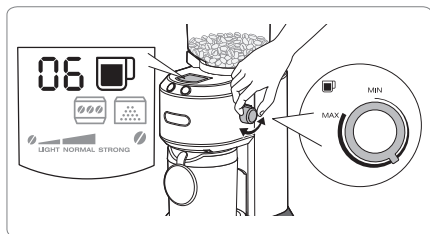


コーヒー豆が中に入っている場合は、ホッパーを取り外さない。
(豆がこぼれる原因)

3 電源プラグをコンセントに差し込み、側面の電源ボタンを押す

4 杯数ダイヤルを回して、コーヒー豆を挽く量を設定する (7 ページ)

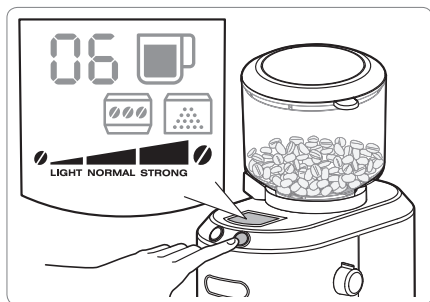
設定した杯数がディスプレイに表示されます。



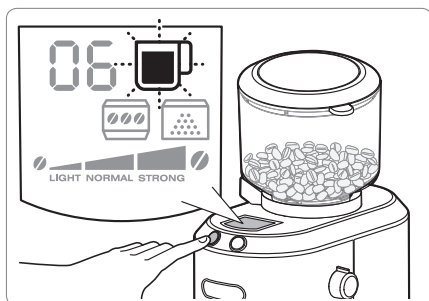
5 ② を押して、豆量を設定する

手順 4 で設定した挽く量を 3 段階で加減します。

LIGHT : 少なめ
NORMAL : 普通
STRONG : 多め



6 ④を押して、運転を開始する



※設定した豆量に達したら、自動的に停止します。

※途中で停止する場合は④を再度押してください。

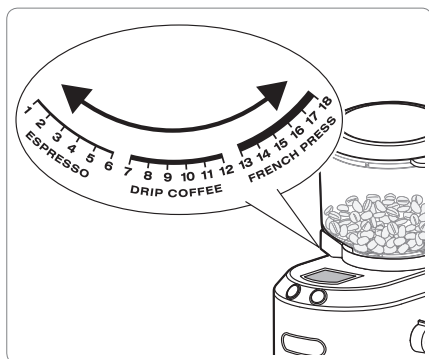
! 定格時間は 40 秒です。連続して 2 回運転したときは 15 分以上休止する。(故障の原因)

※連続して運転すると本体内部の温度が上昇し、過熱防止装置が働いて運転が停止します。

7 粒度を調節する

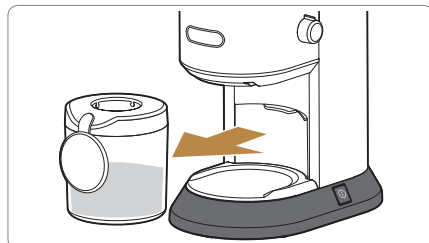
運転中に粒度調節レバーを回して、お好みの粒度の位置にセットします。(6 ページ)

! 粒度の調節は必ず豆を挽いているときに行う。(故障の原因)



8 コンテナから粉を取り出す

本体とコンテナの側面を 3～4 回軽く手のひらでたたき、排出口とコンテナ側面についている粉をコンテナ内に落としてから、コンテナを本体から取り出します。



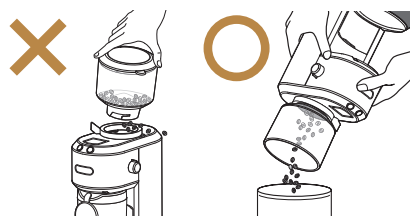
※静電気等でコーヒー粉が本体に付着したり、飛び散ったりする場合がありますのでご注意ください。

※挽いたコーヒー粉は、香りが失われないように、キャップを閉じて保管しておくことができます。

※続けて挽くときは、必ずコンテナを空にしてください。

! ホッパーに残った豆を取り出すには

ホッパーを取り付けたままふたを開けてから本体を傾け、豆を取り出してください。ホッパーは底がないので、豆を入れた状態で外すと、豆がこぼれ落ちます。



フィルターホルダーにコーヒー豆を挽く

1 本体を平らなところに置き、ホッパーを取り付ける

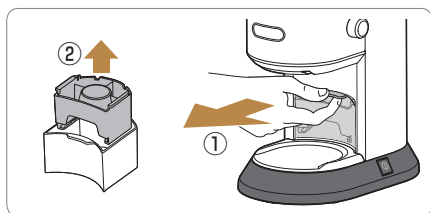
ホッパーを本体に載せ、時計回りに止まるところまで回して取り付けます。



静電気等でコーヒー粉が本体に付着したり、周りに飛び散ったりする場合がありますので、なるべく広い場所で使用する。

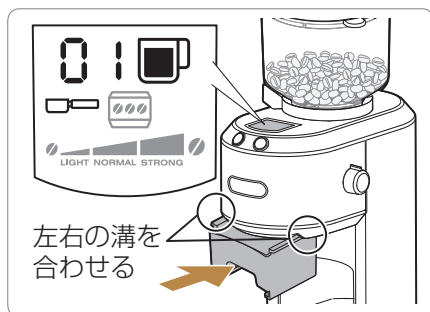
2 「コンテナにコーヒー豆を挽く」の手順 2～3 を行う

3 本体からボックスを引き出して、ホルダースタンドを取り出す



4 ホルダースタンドを本体に取り付ける

ホルダースタンドを本体の溝に合わせ、しっかりとハマるところまで押し込んでください。



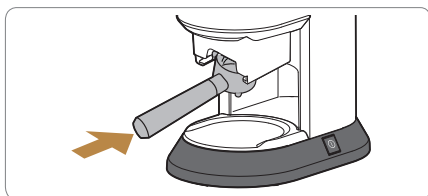
5 電源ボタンを押して、豆量を設定する

詳しくは 8 ページの手順 5 をご覧ください。

6 ホルダースタンドにフィルターホルダーを差し込む

コーヒー粉用のフィルター（1 杯または 2 杯）とフィルターホルダーを使用してください。

※デロンギ コーヒー粉用フィルターホルダーに対応しています。



7 電源ボタンを押して運転を開始する

2 杯分のコーヒー豆を挽く場合は、電源ボタンを 2 回押します。

※フィルターホルダーを使用する場合、杯数ダイヤルは使用しません。

※設定した豆量に達したら自動的に停止します。

※途中で停止する場合は電源ボタンを再度押ししてください。



定格時間は 40 秒です。連続して 2 回運転したときは 15 分以上休止する。（故障の原因）

※連続して運転すると本体内部の温度が上昇し、過熱防止装置が働いて運転が停止します。

8 粒度を調節する

運転中に粒度調節レバーを回して ESPRESSO [1] - [6] の中から好みの粒度の位置にセットします。



- 粒度の調節は必ず豆を挽いているときに行う。（故障の原因）
- 粒度 [6] を超える位置にセットしない。（粉があふれる原因）

その他の機能

プログラムモードについて

ホルダースタンドを使用してフィルターホルダーにコーヒー豆を挽く場合は、粉量を変更することができます。初期設定は7ページをご覧ください。

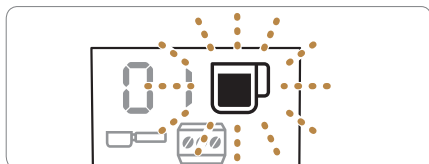
1 「フィルターホルダーにコーヒーを挽く」の手順 1 ~ 6 を行う

※豆量の設定は不要です。

※あらかじめお好みの粒度（ESPRESSO [1] - [6]）に設定してください。（10ページ）

2 を押し続ける

運転が開始し、「杯数表示」が素早く点滅します。



3 お好みの粉量に達したら、ボタンを離す

運転が停止して、エスプレッソ 1 杯分の粉量が設定されます。

※粉が溢れるのを避けるため、自動で停止します。

ディスプレイの明るさ

ディスプレイは5段階の明るさに調節できます。



1 側面の電源ボタンを押す

2 コンテナまたはホルダースタンドを取り外す

ホルダースタンド表示とコンテナ表示が点滅します。

3 または を押して明るさを調節する

初期設定は「C5」（最大）になっています。

ボタンを押して明るさを選択をします。 を押すと暗く、 を押すと明るくなります。

選択後、なにも操作をせず明るさレベルの表示が消えるまで待つと設定が完了します。



初期設定へのリセット

1 「ディスプレイの明るさ」の手順 1、2 を行う

2 を押しながら を押す

プログラムモードで変更した粉量およびディスプレイの明るさの設定が初期設定にリセットされます。

お手入れ

いつも清潔な状態で使用するために、こまめにお手入れしましょう。

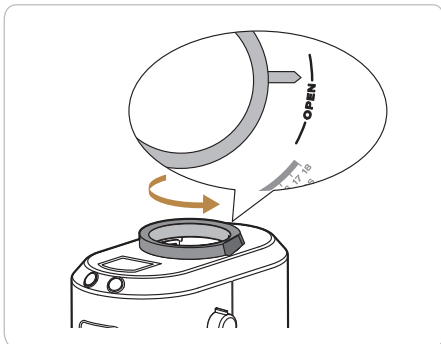


- ・側面の電源ボタンを切り、電源プラグを抜いてからお手入れしてください。
- ・本体は決して水に浸さないでください。
- ・食器洗い機や食器乾燥機などは使用しないでください。
- ・ワイヤーウール、たわし、金ブラシ、研磨スポンジなどは使用しないでください。

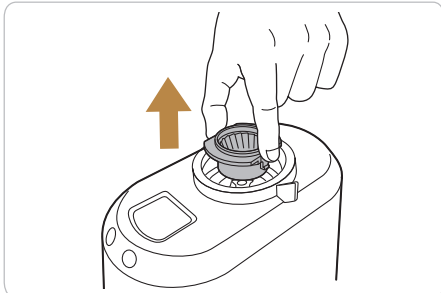
上部挽き刃、下部挽き刃

洗えない

- ① 粒度調節レバーを反時計回りに回して「OPEN」の位置にする



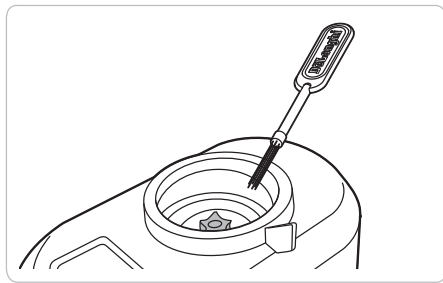
- ② 上部挽き刃を持ち上げて引き出す



- ③ 付属のクリーニングブラシを使って上部挽き刃を掃除する



- ④ 付属のクリーニングブラシを使って本体の下部挽き刃を掃除する

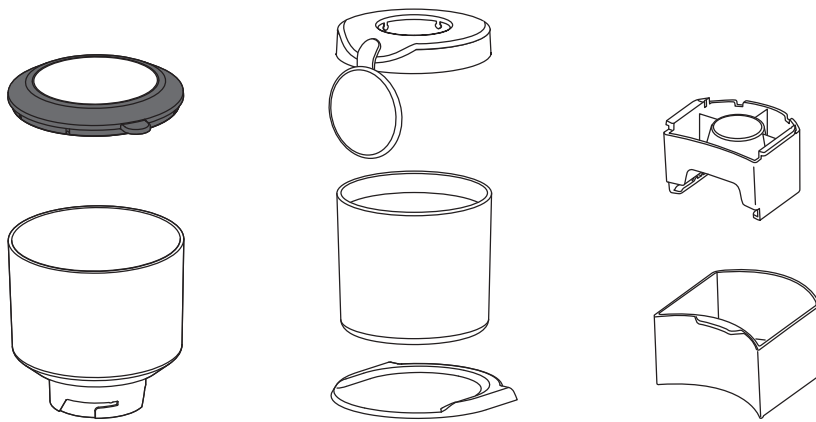


- ⑤ 上部挽き刃を再び本体に取り付け、お好みの粒度まで粒度調節レバーを時計回りに回す

ホッパーふた、ホッパー、 コンテナふた、コンテナ、トレイ ホルダースタンド、ボックス

洗える

食器用中性洗剤と柔らかいスポンジで水洗いします。
※よく乾かしてから本体に取り付けてください。



本体、電源プラグ、電源コード

洗えない

固く絞った濡れふきんで拭きます。
ひどい汚れは、少量の食器用中性洗剤を
つけた布で拭き、その後、固く絞った濡れ
ふきんで洗剤をよく拭き取ってください。
また、本体のコーヒー粉の排出口および
トレイの取り付け部は、粉がたまりやす
くなっています。使用後は毎回クリーニ
ングブラシ等でコーヒー粉を払い落と
してください。



本体や電源プラグ・コードは、水に
浸けたり水洗いしないでください。
(火災・感電の原因)



故障かな？

以下を確認しても正常に動かない場合は、当社（15 ページ）へご連絡ください。

症状	考えられる原因	対処のしかた
ホッパー、コンテナ、トレイが取り付けられない	取り付け部にコーヒー豆やコーヒー粉が詰まっている	付属のクリーニングブラシで取り除いてから取り付けてください。（12 ページ）
運転しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込んでください。（8 ページ）
	ホッパーが正しく取り付けられていない	ホッパーを本体に正しく取り付けてください。（5 ページ）
	コンテナが正しく取り付けられていない	コンテナを本体に正しく取り付けてください。（8 ページ）
	トレイが正しく取り付けられていない	トレイを取り付けてからコンテナを取り付けてください。（6 ページ）
	ホルダースタンドが正しく取り付けられていない	ホルダースタンドを正しく取り付けてください。（10 ページ）
運転はしているが、コーヒー豆が挽けない	本体内部にコーヒー粉が詰まっている	付属のクリーニングブラシで挽き刃や排出口をお手入れしてください。（12 ページ）
運転中に止まる	本体が熱くなっている 過熱防止装置が働いている	過熱防止装置が働いている場合は運転しません。（9、10 ページ） 当社へご連絡ください。（15 ページ）
粒度調節レバーが回らない	上部挽き刃が正しく取り付けられていない	上部挽き刃を正しく本体に取り付けてください。（5 ページ）
コンテナから粉が溢れる	コンテナに前回挽いたコーヒー粉が残っている	コンテナを空にしてから運転してください。
ホルダースタンド使用時、フィルターからコーヒー粉が溢れる	粒度を ESPRESSO [1] - [6] 内にあわせていない	粒度調節レバーを ESPRESSO [1] - [6] にあわせてから運転してください。（6 ページ）
	エスプレッソマシンのフィルター（1 杯または 2 杯）と挽く量（杯数）があっていない	エスプレッソマシンのフィルター（1 杯または 2 杯）と挽く量（杯数）をあわせてください。（10 ページ）

仕様

製品名称	デロンギ デディカ コーン式コーヒーグラインダー	
型式番号	KG521J	
定格	電圧/周波数	交流 100V、50/60Hz
	消費電力	150W
	定格時間	40 秒
外形寸法（約）	幅 155 x 奥行 255 x 高さ 385 (mm)	
質量（約）	2.8kg	
ホッパー容量（約）	350g	
コンテナ容量（約）	120g（中挽き時）	
付属品	クリーニングブラシ	

アフターサービス

1) 使用中に異常（★）が生じた場合

ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「故障かな?」（14ページ）で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社（下記）にご相談ください。

——— <★以下のような場合には、点検および修理が必要です> ———

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・本体に水などの液体をこぼした
- ・電源プラグ・コードが変形／破損している
- ・本体に強い衝撃を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2) 万一、故障した場合

保証書に記載されている販売店に、「① お買い上げ日」、「② 製品名称と型式番号」、「③ 故障の状況」をご連絡の上、修理をご依頼ください。

※修理品の送付先については、お電話またはホームページ（下記）でご確認ください。

※修理品を送付する場合は、必ず故障の状況を記載したメモと、保証期間の場合は保証書を同封してください。

※本製品のメーカー保証範囲は裏表紙の保証規定によります。保証期間を経過した製品についても、お問い合わせや有償での修理をうけたまわります（補修用性能部品保有期間内）。

3) 補修用性能部品の保有期間について

当社では、このコーン式コーヒーグラインダーの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4) まごころ点検について



保証期間（1年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をおすすめします。点検の依頼および料金などにつきましては、下記までお問い合わせください。

5) デロンギ再資源化システムについて

ご不要になった製品は、当社が費用を負担し、素材ごとに分別、再資源化いたします。

製品のお預かり方法など、再資源化のご相談は、下記までご連絡ください。



送料について：送料はお客様のご負担（元払い）となります。あらかじめご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「**再資源化**」と明記してください。

※送付先については、お電話またはホームページ（下記）でご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または下記までお問い合わせください。

デロンギ お客様サポートセンター

▶（受付時間 土、日、祝日を除く毎日 9:30～18:00）

Tel.0120-804-280 / Fax.0120-956-020

〒201-0012 東京都柏江市中和泉5-33-37

ホームページでのお問い合わせ（URL）

<http://www.delonghi.co.jp/support>

保証書

ご販売店さまへ、※印欄は必ずご記入ください。

持込修理

製品名：デロンギ デディカ コーン式コーヒーグラインダー	
型式番号：KG521J	
お客様	ご氏名： _____ 様 TEL： _____
	ご住所：〒 _____
販売店	※店名・住所・TEL： _____
	印
※お買い上げ日： _____ 年 _____ 月 _____ 日	保証期間： お買い上げ日より1年間
保証対象： 本体	

見本

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行なうことをお約束するものです。

- お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、商品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、下記に直接ご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
 - 本書のご提示がない場合
 - 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷
 - 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
 - 一般家庭用以外（例えば業務用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷
 - 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

（This warranty is valid only in Japan.）

- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記にお問い合わせください。
- 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービス」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■修理メモ

デロンギ・ジャパン株式会社

TEL. 0120-804-280 〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページ <http://www.delonghi.co.jp>

※この取扱説明書に記載されている連絡先の名称、電話番号、所在地、営業時間は変更することがありますのでご了承ください。